



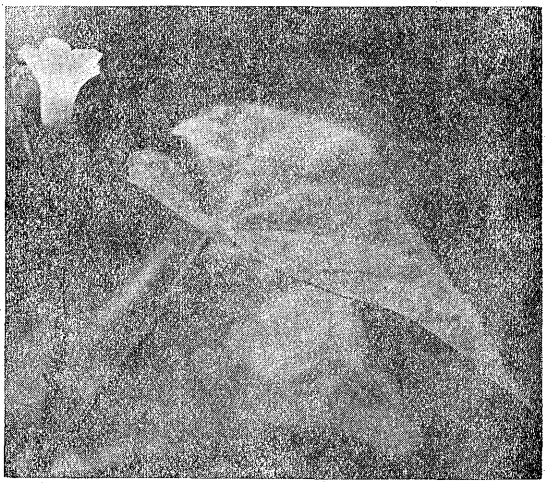
同書卷之一、五丁、花形分解之圖中ニハ萏、蕾、蓓ト區別シテ、順次蕾ノ發展ノ程度ヲ示スニ務メテ居ル。勿論之ガ今日通用シテ居ルノデハナイガ、兎ニ角念ノ入ツタ見方デアル。實際問題トシテ、花ノ未開ノ名稱トシテ、單ニつぼみト云ツテモ展開ノ進度ヲ明カニシテ居ナイ、從ツテ此樣ナ扱ヒ方ニモ若干ソ理由モアル。兎ニ角本草時代ノ一種ノ術語トシテ認メオク。

○芥 子 (久内淸孝)

芥子ハからしデアルガ、近頃之ヲけしト讀ム人達モアルノデ困ツタモノダト思ツタ處、草木保育剪伐法ヤ江戸時代ニ出タすゝめ草ナドモけしニ芥子ヲ亂用シテ居ル。尤モ之等ノ著者等ハ園藝家デ、特ニ學者ト云譯デモナカツタノデ、稱呼ノ形式ナドニハ深イ注意ヤ、關心ヲ持タナカツタノデアラウガ、シカシ當時既ニ斯クノ如キ混亂ノアツタ事丈ハ疑フベクモナイ樣デアル。

○ほしあさがほ (星朝顏) 新和名　(津山　尙)

細川隆英氏ガ *Ipomoea sepiaria* KOEN. トシテミクロネシアノヤップ島カラ報告シタ一種ハ實ハ *I. triloba* L. デアツテ臺灣デモ亦以前カラ第一ノ名デ久シク誤認サレテキタモノデアル(細川：臺灣博物學會會報 28 p. 156)。插入ノ寫眞A及ビ圖Bハ共ニ臺灣ニ於ルソレデアル。ソレデハ臺灣ニ於ル *I. sepiaria* ノ存在ハ誰ガ最初ニ記錄シタカト言フニ、ソレハ恐ラクA. HENRY ノ A List of Plants from Formosa p. 65, ノ "*Ipomoeo sepiaria Koen.* Takow Plain, Henry 1, 954." デアル。早田博士ハコレヲドウシタモノカ "Hab.

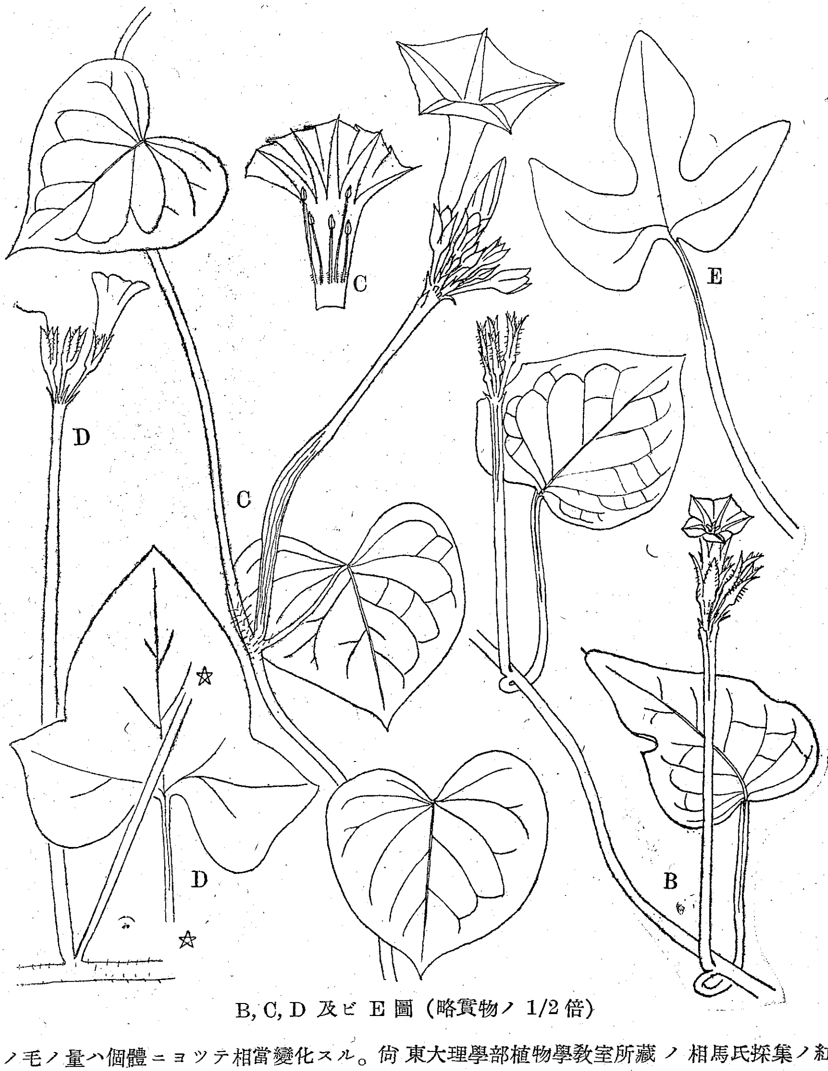


A 圖（實大）

Bankinsing (ex HENRY)." トシテ臺灣植物目錄ニ引用サレ、更ニ臺灣植物圖譜第6卷ノ補遺(大正5年)ニ於テコレニ和名**ふさあさがほ**ヲ與ヘラレタ。當時ニハ未ダ臺灣產ノコノモノノ實際ノ標本ハナカツタノデアル。シカシコレニ先ダツテ川上瀧彌氏ハ臺灣植物目錄(明治43年)ニ於テ**やぶあさがほ**ナル和名ヲ與ヘテキテ、コレハ前者ト共ニ伊藤武夫氏ノ臺灣植物圖說ニ引用サレテキル。所ガ*I. triloba*ハコノモノトハ大分違ツタモノデアル。*I. sepiaria* ソノモノノ標本圖(勝間田善作氏, 海南島, 明治41年7月15日、圖C コノ花ハ臘葉ヨリ書イタタメニ花冠ガ尖ツテキルガ實際ハ圓イモノデアル。）ト比較サレソレタイ。故ニ *I. triloba* ニハ未ダ和名ガナイコトニナルカラ、新タニ**ほしあさがほ**ノ名ヲ與ヘルコトニシタイ。花ハ小サク淡紫色デ花冠ノ筒部ハ濃紅紫色デソレヲ上方カラ見ルト所謂星形ヲ呈スルカラデアル。コノモノハ米大陸原產デアルガ、東洋ニハ早ク輸入サレタ。MERRILL: The American Element in the Philippine Flora ニハ *I. Blancoi* CHOISY トシテ出テキテ次ノ文ガアル。

"This species is described by BLANCO under the name of *Convolvulus dentatus*, and is the species figured in the third edition of the Flora de Filippinas as *Ipomoea commutata*. Dr. H. HALLIER is of the opinion that this species is not a native of the Philippines, but has been introduced from America. At the present time the species is very common about towns in the Philippines, and if introduced, the introduction must have been at a comparatively early date."

文中ノ *I. commutata* ノ圖ハ卽チ挿入ノ圖 F デ（約1/2ニ縮少）デアル。圖 D 及ビ E ハ Cuba產ノ *I. Ramoni* CHOISY 及ビ *I. triloba* L. ノ圖デアツテ、特ニ前者ハ type localty ノ標本デアツテ、共ニ田中長三郎博士御所藏ノモノノ臨寫圖デアル。Index Kewensis ガコノ兩者ヲ獨立ノ種トシテキルニ關ハラズ、前者ハ後者ノ葉ノ切レ込ンダ一型ニ過ナイコトハ疑ナク *I. triloba* L. = *I. Ramoni* トナルコトハ確デアル。葉ノ型ガカク變化スル事ハ小生ノマリアナ列島ヤヤップ島ニ於ル *I. triloba* ノ觀察ト一致スルコトデアル。ミクロネシアニ於ケル分布ハ古イ通商航路カラ考ヘテアカプルコ, グァム(Guahan), フィリッピンヲ通ツテ輸入サレタモノガ擴ツタモノデアラウ。小生ハソノ自生地ヲサイパン、ロタ、ヤップノ各島デ確メ得タ。*I. triloba* ニハ蕚片ノ緣ニ固イ毛ガアルノハ面白イ特徵デアルガ、コ



B, C, D 及ビ E 圖 (略實物ノ 1/2 倍)

ノ毛ノ量ハ個體ニヨツテ相當變化スル。尙東大理學部植物學教室所藏ノ相馬氏採集ノ紅頭嶼產ノ一品ガアルガ、コレハ *Ipomoea Batatas* 卽チ甘藷ト *I. triloba* トノ雜種デハナイカト疑フ。甘藷ノ原產地ハ今日尙不明ノ儘學界ノ疑問トシテ殘サレテキルガ、ソレガ *Ipomoea triloba* ノ triploid 植物デアル可能性ガアルコトガ渡邊清彥博士ノ御研究デ明カニサレタ。コノコトカラ兩種ノ自然交配ヲ類推スルノデアル。博士ノ研究ハ甘藷ノ單ナル品種改良デナク、ソレト異ツタカテゴリーニ屬スル野生品ヨリノ新品種作成ノ可能性ヲ示唆スルモノデアル。

以上命名上ノ問題ニ關スルモノノ他ノ大ナル部分ハ我ガ師ナル渡邊清彥博士ノデータニヨツタモノデアル。圖ハFヲ除イテハ全部同博士ノ勞作ニナルモノデアル。本篇ハ博士ト共著トシテヨリ精細ナ研究ヲナス豫定デアツタ所、博士ハ既ニ南方ノ第一線ニ出向カレテキル故、取敢ヘズココニ短文トシテ發表シタ(參照シタ論文ハ他ニ ROBINSON, *Ipomoea triloba*. in Philippines. Torreya, **7**, p. 78–80. MERRILL, Enum. Philip. Flow. Pl. **3**, p. 368. 尙 KING et GAMBLE, Material. Fl. Malay Peninsula Gamop. p. 527, GAGNEPAIN et COURCHET, Flore Général de l'Indo-Chine, **4**, p. 260 等ノ synonymy ニ對シテハスコブル疑問ガアルコトヲ附記スル。最近出版サレタ二三ノ海南島ノ植物目錄中ニアル *I. sagittaefolia* BURM. fil. ハ *I. sepiaria* ソノモノデアラウ)。



F 圖 Flora de Filipinas 第三版ヨリ(縮圖)

○「廣大和本草」及「豆腐百珍」ノ著者ニ就テ　(津山　尙)

直海龍ノ廣大和本草ニ就テハ既ニ矢野宗幹氏ガ「大和本草ノ考註書」(本草學第1號)ニ於テ“私は殊更に之を除外した。其は大和本草の考註をしたものではないと考へるからである。”ト述ベテ居ラレル。又白井光太郎先生ハ博物年表中ニ於テ“此書の如きは名を大和本草の增訂に假ると雖も、實は荒誕無稽の臆說を妄作したるものにして漢名・和名・引用書目等は、大低僞作にして、眞に其實あるに非ず故に學術上には毫も參考の價値なきものにして、天下後世を過まるの罪小少に非ず”トキメツケラレテキル。シカシコノ書ノ出版事情ニ關シテ次ノ樣ナ事情ガアツタコトガ判レバ成程トウナヅカレルノデアル。卽チ森銑三氏ハ圖書館研究第十號ニ於テ杉野恒ノ稿本「典籍作者便覽」ヲ紹介シ、ソノ中デ次ノ樣ニ述ベテ居ラレル。“本草家直海龍は、評判のよくな